

沖縄

美ら島
ちよらしまのなまわ

2009 January
Vol.400

1

TAKE FREE!

無料

ご自由にお持ち帰り
ください。

特集
1

第4回沖縄平和賞

特集
2

県職員の給与の状況

特集
3

見る! 触れる! 味わう!
地産地消を体験しよう!

年頭のあいさつ

新年おめでとうございます。

県民の皆様には、経済社会情勢が厳しい中、決意を新たに、希望を持って、新年をお迎えのことと思います。

私が知事に就任してから二年が経過し、この間、雇用の創出・拡大や企業誘致など産業の振興に全力を尽くすとともに、医療・福祉の充実、社会資本の整備、農業及び離島・過疎地域の振興、教育・文化の振興など、あらゆる面で施策を講じてきました。

昨年は、沖縄県の産業を支える中小企業の振興を図るための沖縄県中小企業の振興に関する条例を制定するとともに、産業雇用拡大県民運動（みんなでグッジョブ運動）の一層の推進に取り組んでまいりました。

また、G8科学技術大臣会合の開催により、コンベンション・アイランドとしての沖縄の知名度を更に高めるとともに、「第四回沖縄平和賞」の贈賞を通じて、平和を希求する「沖縄の心」を国内外に発信することができました。

今年、私の任期後半のスタートであり、公約の実現及び政策課題の解決に、全力で取り組む決意を新たにしております。沖縄振興計画も三年を残すところとなり、また、地方分権改

革の推進や道州制の導入の議論が本格化するなど、沖縄県を取り巻く状況は、変化しつつあります。このような中において今年、沖縄の将来を見据え、自立的発展の基礎を地道に固めていく年にしたいと考えております。

我が国の経済社会をとりまく情勢は、景気の後退や雇用環境の悪化など厳しい状況にあり、沖縄県の雇用状況も一段と厳しさを増しております。雇用の拡大は喫緊の課題であり、地元企業の振興及び企業誘致に一層力を入れるとともに、「みんなでグッジョブ運動」を引き続き強力に推し進めてまいります。

今年、私の任期後半のスタートであり、公約の実現及び政策課題の解決に、全力で取り組む決意を新たにしております。沖縄振興計画も三年を残すところとなり、また、地方分権改

今年、私の任期後半のスタートであり、公約の実現及び政策課題の解決に、全力で取り組む決意を新たにしております。沖縄振興計画も三年を残すところとなり、また、地方分権改

今年、私の任期後半のスタートであり、公約の実現及び政策課題の解決に、全力で取り組む決意を新たにしております。沖縄振興計画も三年を残すところとなり、また、地方分権改

今年、私の任期後半のスタートであり、公約の実現及び政策課題の解決に、全力で取り組む決意を新たにしております。沖縄振興計画も三年を残すところとなり、また、地方分権改

また、昨年来の原油価格の高騰及び世界的な金融危機は、沖

発信する機会となり、観光産業を始め県内産業の振興と県経済の発展につながるよう、取り組んでまいります。

現下の厳しい難局に立ち向かい、自立した経済の下で沖縄が発展していけるよう、県民の皆様の御理解と御協力を得ながら、一つ一つの施策を丁寧に着実に進めていきたいと考えております。

新しい年が、県民の皆様にとってよい年になりますよう、祈念しまして、新年のごあいさつといたします。

平成二十一年一月一日

沖縄県知事 仲井眞弘多



1

2009.1
vol.400

CONTENTS

- 2 仲井眞知事 年頭のあいさつ
- 4 県政フラッシュ
- 6 特集1
第4回沖縄平和賞
- 8 特集2
県職員の給与の状況
- 10 特集3
見る！触れる！味わう！地産地消を体験しよう！
- 12 沖縄の季節の光りと色と～感じたことを描くこと～
「春爛漫花巣箱」
- 14 頑張っている人の現場訪問
沖縄市管工事業協同組合 金城 正樹さん
- 16 県の動き
沖縄県緊急総合経済対策について
- 18 情報ひろば お知らせ
- 20 わしたしまの情熱キーパーソン
「伊是名村」「国頭村」

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について
沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみならずにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課のホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課 TEL.098-866-2020
<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中！



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中！

12/2 具志堅、平仲両氏が「美ら島沖縄総体2010」大会実行委員会へ寄付金贈呈



仲井眞知事に寄付金を贈呈する平仲信明氏(左)と具志堅用高氏(左から二人目)

県 出身のプロボクシング元世界王者である具志堅用高氏と平仲信明氏がそろって県庁を訪ね、11月30日に宜野湾市のコンベンションセンターで行われたプロボクシング大会興行の収益金の一部と大会会場で募った募金を「美ら島沖縄総体2010」大会実行委員会に寄付した。

全国高校総体ボクシング競技の優勝経験者でもある両氏は「私たちは高校総体優勝から世界王者になった。2年後の沖縄総体をぜひとも成功させてほしい。寄付金については県内選手の強化資金などに役立てて頂きたい」と話した。

大会実行委員会会長である仲井眞知事は「大会実行委員会への寄付第1号であるお二人には大変、感謝している」とお礼を述べた。

11/25 沖縄県緊急総合経済対策を推進(第2回会合)



第二回会合で発言する仲井眞知事

世 界的な金融危機等の影響により、国内経済が減速の動きを見せる中、県経済の安定と暮らしの安心を確保するために設置された沖縄県緊急総合経済対策連絡会議の第2回会合が県庁で行われた。

11月14日に行われた第1回会合で、仲井眞知事は、早急に対策の体系化や県民への周知の徹底等を行うよう関係部局長に指示し、これらを踏まえて第2回会合では中小企業対策や雇用対策等の7つの柱からなる総合経済対策が取りまとめられた。

仲井眞知事は「昨今の経済情勢を踏まえ、各部局とも連携して迅速に対応するように」と県幹部に対して重ねて指示した。

12/12 表敬 第19回世界空手道選手権大会女子団体形の部 日本代表チーム、知事に優勝を報告



仲井眞知事と記念撮影に応じる日本代表チーム三選手と佐久本嗣男コーチ

11月に東京で行われた第19回世界空手道選手権大会女子団体形の部で2004年のメキシコ大会以来、2大会ぶりに優勝した日本代表チームの清水由佳選手、嘉手納由絵選手、金城さゆり選手、佐久本嗣男コーチらが県庁を訪ね、仲井眞知事に同大会女子団体形の部での優勝を報告した。

日本代表チーム主将を務めた清水選手は「最近の空手は派手なパフォーマンスや華やかな技が評価されがちだが、その中であえて沖縄の伝統空手を貫いたことが評価され、優勝できたことが嬉しい」と優勝の抱負を語った。

優勝報告を受けた仲井眞知事は「今回の世界大会優勝は我々にいいインパクトを与えてくれた。今後とも頑張ってもらいたい」と激励した。

11/30 障害者就労支援の充実を目指して 第43回沖縄県身体障害者福祉大会



あいさつを述べる仲井眞知事

障 害者の雇用・就労支援施策の一層の充実を図ろう」をテーマに第43回沖縄県身体障害者福祉大会が浦添市のてだこホールで開催され、北京パラリンピックに出場した上与原寛和選手、又吉清人選手、仲里進選手のほか、約500人が参加し、障害者自立支援制度の見直しなどを盛り込んだ大会宣言を採択した。

大会に参加した仲井眞知事は「障害者福祉施策を総合的に推進することで障害者も健常者も共に支え合い、暮らしていける共生社会を実現したい」とあいさつした。

大会では身体障害者福祉事業功労者6名と永年勤続等功労者35名が表彰を受けたほか、「心の輪を広げる体験作文」入賞者への表彰が行われた。

沖縄の人口・世帯の動き

人口
137万8,788人
※前月比1,036人増

世帯
51万7,621世帯
※前月比894世帯増



※平成20年11月1日現在



12日 表敬 第19回世界空手道選手権大会女子団体形の部日本代表チーム
道州制シンポジウム

9日 平成二十年第四回沖縄県議会一般質問(十一日まで)

8日 表敬 日本郵船(株)名誉会長 根本二郎氏

4日 表敬 駐日ニュージーランド大使 イアン・ケネディ氏

2日 東京出張(二日まで)
贈呈者 具志堅用高氏、平仲信明氏
「美ら島沖縄総体2010」の寄付金贈呈

1日 表敬 那覇市長 翁長雄志氏
沖縄科学技術研究基盤整備機構視察

12月
December

30日 第四十三回沖縄県身体障害者福祉大会

28日 沖縄電力 吉の浦火力発電所1・2号機新設工事起工式及び祝賀会

27日 表敬 三菱UFJ信託銀行取締役社長 岡内欣也氏

25日 東京出張(二十六日まで)
沖縄県緊急総合経済対策連絡会議(第二回会合)

21日 平成二十年第三回沖縄県行政改革懇話会

17日 東京出張(二十日まで)

16日 二階経済産業大臣・沖縄産業界等との意見交換会

11月
November



第4回沖縄平和賞 ～沖縄のこころを世界へ～

特定非営利活動法人「難民を助ける会」に贈賞

第四回沖縄平和賞は、特定非営利活動法人「難民を助ける会」(本部/東京都)に贈賞しました。「難民を助ける会」は、緊急支援・障害者自立支援・地雷対策を中心に活動する国際NGOです。沖縄平和賞は、沖縄と地理的・歴史的に関わりの深いアジア太平洋地域の平和構築などに貢献した個人や団体を顕彰するもので、授賞式は二年に一度行われます。

沖縄平和賞授賞式

平成二十年十一月七日、名護市の万国津梁館で「第四回沖縄平和賞授賞式」が開催され、駐日ケニア大使、駐日ボツワナ大使、駐日ベルギー大使など多くの出席者が見守る中、特定非営利活動法人「難民を助ける会」に賞状と賞牌、副賞一千万円及び記念品が贈られました。

主催者を代表し、仲井眞知事は「今回は、世界各国におきまして、難民支援など多彩な支援活動を展開している難民を助ける会が選ばれました。これまでのご功績を称え、深甚なる敬意を表します。」とあいさつしました。

受賞者を代表して柳瀬常任理事は「長年の活動を評価していただき、嬉しく思います。頂いた同賞にふさわしい活動を今後、どう行っていくかがこれからの課題です」と授賞の喜びを語りました。

式典では、読合小学校の嘉納英佑さんによる平和へのメッセージ「世界を見つめる目」の朗読や、海外十七カ国の県人会等から寄せられた折り鶴の贈呈なども行われ、平和を愛する

る沖縄のこころが再認識されました。また、授賞式終了後、受賞者記念講演を行い、「国際協力と平和」との演題の下、長有紀枝理事長から「難民を助ける会」の創設の経緯や、活動内容、平和について語られました。「難民を助ける会」の活動の根底にある相互扶助の精神は、沖縄戦をはじめ過酷な経験を有し、多文化を受容してきた沖縄の歴史的、文化的特性等に根ざして、恒久平和の創造に貢献するものとして創設された沖縄平和賞の理念に合致するものです。今後も沖縄平和賞を末永く継続して実施し、平和を希求する「沖縄



右から 柳瀬常任理事、長理事長、仲井眞知事、尚弘子沖縄平和賞選考委員会副委員長

のこころ」を世界に向けて発信するとともに、世界の人々と共に平和の構築・維持に携わっていくこととしています。



授賞式でスピーチをする長理事長(左)と柳瀬常任理事

「難民を助ける会」の活動について

「難民を助ける会」は、一九七九年に、インドシナ難民を支援するために、政治・思想・宗教に中立な立場の市民団体として設立されました。一九九七年には、地雷禁止国際キャンペーン(ICBL)のメンバーとしてノーベル平和賞授賞式にも招へいされました。難民や避難民への支援のみならず、

人権講演会のお知らせ

講師/難民を助ける会
理事長 長有紀枝氏
開催日/二月九日(月)
午後六時～七時三十分
場所/パレット市民劇場

障害者への支援や、対人地雷廃絶・被災者支援に重点をおく多彩な支援活動を展開しており、これまでに世界五十カ国以上での活動実績があります。

緊急支援

災害や紛争が起こった際に、難民や被災者への緊急支援をおこなっています。



スリランカ緊急支援
©難民を助ける会

障害者自立支援

難民の中でも特に弱い立場にあ



カンボジア障害者支援
©難民を助ける会

地雷対策

一九九六年より対人地雷廃絶キャンペーン絵本「地雷ではなく花をください」シリーズを刊行(五十八万部)するほか、地雷の被害にあわないための教育、地雷被害者への支援を行うなど、積極的に地雷問題に取り組んでいます。



アフガニスタン地雷回避教育
©難民を助ける会



対人地雷キャンペーン絵本
©難民を助ける会

平和の折り鶴キャンペーン

平成二十年五月から九月までの間、県内小中学校の児童・生徒や沖縄県民、国内外県人会等を対象に、第四

回沖縄平和賞授賞式に向けて「平和の折り鶴キャンペーン」を実施し、平和のメッセージを入れた折り鶴を折ってもらいました。折り鶴は当初目標数の十三万羽を超え、最終的に十五万九千六百五十四羽に達しました。ご協力いただいた多くの方々に、厚くお礼を申し上げます。



沖縄平和賞支援募金へ ご協力ください

皆様から頂いたご寄附は、沖縄平和賞の賞金として、受賞者をとおして平和の構築・維持に役立っています。皆様の暖かいご支援を心よりお願い申し上げます。

沖縄平和賞委員会

〒900-0021 那覇市泉崎1-2-2
(県文化環境部平和・男女共同参画課内)
「沖縄平和賞委員会事務局」
Tel:098-866-2500
Fax:098-866-2589
E-Mail:aa001309@pref.okinawa.lg.jp

お問い合わせ【県平和・男女共同参画課】 TEL.098-866-2500 FAX.098-866-2589



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中!



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中!

6 職員の平均給与月額、平均年齢の状況

(平成20年4月1日現在)

	給料	手当	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	321,800円	+ 48,242円	= 370,042円	42歳10月
現業職	317,600円	+ 45,649円	= 363,249円	48歳3月
高等学校教育職	354,500円	+ 53,313円	= 407,813円	41歳6月
小・中学校教育職	362,200円	+ 53,950円	= 416,150円	43歳2月
警察職	320,200円	+ 104,774円	= 424,974円	39歳9月

※平均給与月額は、平成20年4月分の給料と諸手当(扶養手当、時間外勤務手当など)の合計を平均したもので、特例減額措置を受けた後の額です。

7 職員の手当の状況

(平成20年4月1日現在)

区分		支給内容		国の制度	
期末・勤勉手当	期末手当	3月分		3月分	
	勤勉手当	1.35月分		1.5月分	
	計	4.35月分		4.5月分	
	平成19年度平均支給額	1,643,928円		-	
区分		自己都合	勤奨・定年	国の制度	
退職手当	支給率	勤続25年	33.50月分	41.34月分	同
		勤続35年	47.50月分	59.28月分	
		最高限度倍率	59.28月分	59.28月分	
	平成19年度平均支給額	6,261,762円	27,096,342円	-	
内容		手当額(月額)		国の制度	
主要 手当	扶養手当	扶養親族(配偶者、22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子、60歳以上の父母等)のいる職員に支給	配偶者 13,000円 子等 6,500円 16~22歳の子1人につき 5,000円加算	同	
		住居手当	住居を借り受け、又は所有している職員に支給	借り受け 27,000円まで 所有 2,500円	異
			通勤手当	通勤距離が2km以上で、バス等を利用している職員に支給	バス等 6箇所定期券等の価額 自家用車 距離に応じ2,300~40,000円

(平成20年4月1日現在)

8 特別職の給与等の状況

知事等の特別職の給与等については、県内各界の代表者などで構成する「沖縄県特別職議員報酬等審議会」の答申を受けて、条例で定められています。

給料月額及び議員報酬		期末手当の支給割合	
知事	1,116,000円	6月期	1.6月分
副知事	911,400円		
議長	990,000円	12月期	1.7月分
副議長	850,000円		
議員	760,000円		
		計	3.3月分

※知事、副知事の給料月額は特例減額措置を受けた後の額です。

9 特例的な措置

本県の厳しい財政状況を踏まえ、給料月額について、知事10%、副知事7%、公営企業の管理者・病院事業の管理者5%、特別職の秘書・教育長・大学の学長・一般職の職員3%の減額措置を行っています。
また併せて、知事・副知事・公営企業の管理者・病院事業の管理者・常勤の監査委員・教育長・大学の学長の期末手当及び一般職の管理職員の管理職手当を15%、特別職の秘書の期末手当及び一般職の職員の期末勤勉手当について2%の減額措置も行っていきます。

詳しい内容は、県公報や人事課ホームページで、ご覧になれます。

お問い合わせ【県人事課】TEL.098-866-2090 FAX.098-866-2033

県職員の給与の状況

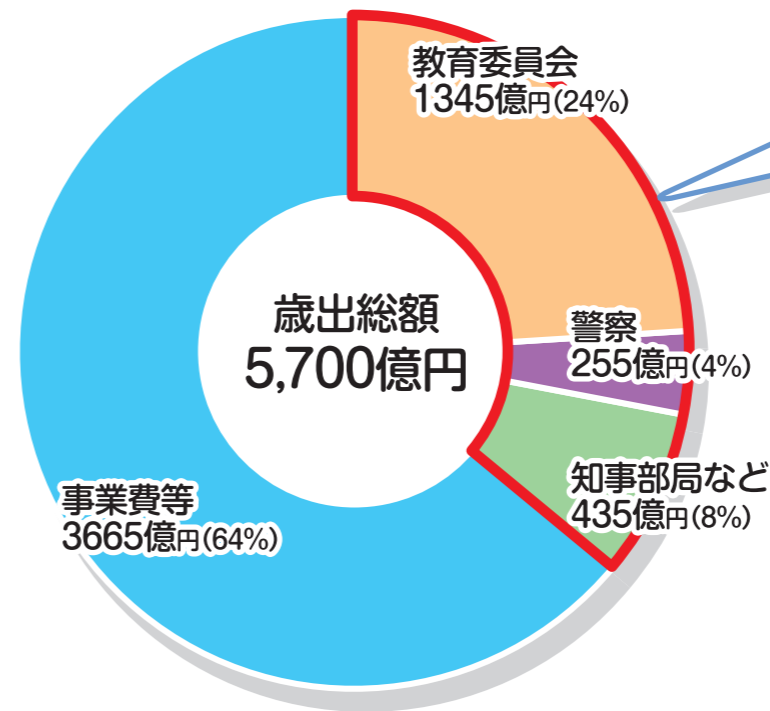
県では、福祉、教育、商工、土木、農林水産、警察など県民生活に関わる仕事を行っており、これに携わる職員数は約23,000人(公営企業事業の職員を含む。)です。

1 給与決定の仕組み

県人事委員会は、毎年、県内の企業規模50人以上の民間企業等の給与実態を調査して、県職員の給与について勧告を行っています。
この勧告に基づき、県議会の審議を経て、条例により給与が決定されています



2 人件費の状況(平成19年度普通会計決算)



人件費 2,035億円(35.7%)
(前年度の人件比率 34.8%)
特別職報酬等……………30億円
給料……………948億円
期末・勤勉手当……………361億円
職員手当……………173億円
退職手当……………227億円
共済負担金……………273億円
その他……………23億円

3 職員数の状況(部門別職員数の状況)

(平成19年4月1日現在)

部門	職員数	対前年増減
一般行政部門	4,304人	△72
教育関係	13,622人	△176
警察関係	2,844人	21
小計	20,770人	△227
公営企業事業	2,228人	△24
水道事業	296人	△6
下水道事業ほか	120人	△6
小計	2,644人	△36
合計	23,414人	△263

※職員数は、一般職に属する職員数で地方公務員の身分を保有する退職者、派遣職員等は含み、臨時又は非常勤職員を除いています。

5 職員の初任給の状況

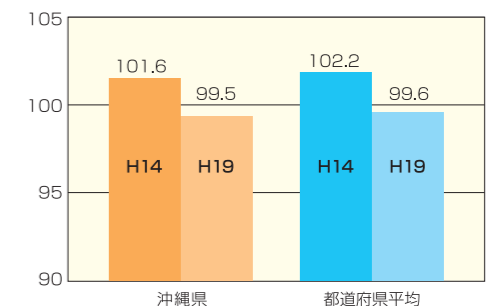
(平成20年4月1日現在)

区分	県	国
一般行政職	大学卒 167,034円	172,200円 II種
	高校卒 135,897円	140,100円 III種
現業職	高校卒 133,084円	-
	中卒 125,324円	-
高等学校教育職	大学卒 187,016円	-
	短大卒 161,311円	-
小・中学校教育職	大学卒 187,016円	-
	短大卒 163,542円	-
警察職	大学卒 181,875円	187,500円 III種
	高校卒 153,357円	158,100円 III種

※県の初任給は特例減額措置を受けた後の額です。

4 ラスパイレス指数の状況

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。



見る! 触れる! 味わう! 地産地消を体験しよう!

～おきなわ花と食のフェスティバル2009～
期日:平成21年2月7日(土)・8日(日) 会場:奥武山総合運動公園



食の安全・安心

近年、消費者の農林水産物・加工食品に対する安全・安心志向が高まっており、「地産地消」を推進して消費者と生産者の距離を短縮し、「食」と「農」「健康」の原点を見直していくことが求められています。

しかしながら、ライフスタイルの多様化、食の外部化など、食をとりまく環境は大きく変化しており、県民、とりわけ若い世代の県産食材離れが顕著です。

そのため、地域で生産された農林水産物を地域で消費する「地産地消」運動を全体的に展開し、県民に新鮮で安全・安心な県産食材の良さを広くアピールし、沖縄の伝統的食文化の普及や、県産農林水産物の消費拡大による食糧自給率の向上を図ることが重要です。

地産地消の推進

地産地消とは、「地元でとれた生産物を地元で消費すること」を意味し、主に三つの利点があります。まず一つ目は、生産者と消費者の

距離が近くなることで、お互いを意識した情報の交流が図られます。二つ目は、より新鮮で季節に合った旬の味が楽しめ、地元ならではの野菜や果物を食することができます。三つ目は、地元で販売するため、輸送時に生じる二酸化炭素の削減や梱包を簡単にすませられるなど、エコライフにつながります。



フェスティバル出店ブース内



ぜひご参加を!

地産地消をテーマに「おきなわ花と食のフェスティバル」を開催します。フェスティバルでは、見て触れて味わいながら、花、野菜、肉、魚などの県産農林水産物の情報を知ることが出来ます。美しい花や美味しい食材を通して健康的な生活を楽しむために、ぜひフェスティバルで地産地消を体験して下さい。



見る!



園芸まつり(武道館)

- *花き・野菜・果樹品評会オークション(最終日)
- *フラワーデザインコンテスト
- *いけ花・おし花展示、体験教室
- *いちおし産地・伝統野菜コーナー
- *産地活動表彰
- *産地活動紹介

アトラクション

- *キャラクターショー
- *吹奏楽演奏・郷土の伝統芸能
- *インディーズバンドコンサート

市町村の広場

ご当地食材(野菜、加工品)や自慢の料理、民芸、芸能、食育に関する展示、試食・販売

触れる!



動物ふれあい牧場

- *乳しぼり体験
- *乗馬体験
- *子ブタと子ヤギとのふれあい

まちと村の交流体験バスツアー

奥武山発、海・畑・食の体験バスツアー

サーターヤ

- *黒糖づくり実演
- *黒糖工場7社の製品販売・試食

海鮮市場

- *マグロ刺身づくり体験
- *水産加工品の試食・販売
- *魚汁、伊勢えび汁、押し寿司、モズク炊き込みご飯等の販売

※内容は都合により変更になる場合があります

味わう!



JAコーナー

- *ファーマーズマーケットを中心とした県産農産物の試食・販売
- *地産地消鍋料理の提供

まーさん市場

- *お肉の大試食会
- *県産牛・豚・卵・牛乳の試食・販売

こだわりシェフのクッキングプラザ

- *県産食材料理の試食
- *料理体験教室

楽旬酒肴

旬の食材を用いた料理とビール・泡盛のコラボレーション

ヤングファーマーズ市場

農業青年クラブメンバーが生産した県産野菜、果樹、花の苗等の販売・活動PR

山の市

- *県産きのこの試食・販売
- *木灰ソバの限定販売
- *県産材、木工・竹炭製品等の展示・販売
- *親子木工体験教室

お問い合わせ【県流通政策課】TEL.098-866-2255 FAX.098-868-0700



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中!



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中!



イラスト：波平雄介氏

1985年8月30日生まれ。3歳で自閉症と診断。コンピュータグラフィックスを使い、沖縄の自然や祭りなどを色彩豊かに描くアーティスト。これまでに沖縄をはじめ、京都、オランダ、スイスなど国内外で個展を開催。平成19年には「ニライカナイからのおくりもの」を出版。

「春爛漫花巣箱」

桜の木の枝が巣箱みたいにみえて、そこには2羽の鳥が仲良く寄り添ってとまっています。春の陽気に包まれて何だか優しい気持ちになれますね。



沖縄の1月

大寒。特に寒い日は、気温が10度～12度くらいまで下がる。大寒の頃は、「ムーチャービーサ」と呼び、月桃の匂いとともに鬼餅を迎える。

平均気温：17.1度

平均海水温：21.9度

旬の果物：ミカン、タンカン、サトウキビ

季節の花木：カンヒザクラ、ヤマモモ

季節の動物：ムナグロ、シギ、シジュウカラ

働きたいアナタを応援!!

1月

来春卒業予定の学生の皆様へ

学生による学生のための 就活イベントに参加しませんか？

グループワークや、ゲストによる講演会、内定者とのトーク会など、沖縄県キャリアセンターの学生スタッフ主催の就活イベントを開催します。

学生による学生のための就活イベント「START!」

日時：1月17日(土) 13:00~16:30
(受付開始は12:30)

場所：ザ・ビーチタワー沖縄2F宴会場
定員：135名(要予約)
服装：リクルートスーツ

参加希望者は、以下のメールアドレス宛てに(1)氏名、(2)性別、(3)学校・学科名、(4)電話番号を明記して送信してください。

メール：start2009_jrnavi@yahoo.co.jp

申込期限：2009年1月14日(水)

主催：沖縄県キャリアセンター

担当：Jrナビゲーター

詳しくは<http://jrnaviblog.ti-da.net/>

求職中の皆様へ

就職活動に役立つセミナーです。 この機会に受講してみませんか？

① 1月9日(金) 14:00~16:00
「ビデオ学習(面接)&ロールプレイ」

② 1月13日(火) 14:00~16:00
「JOBトーク IT業界で働こう」
講師：沖縄クロスヘッド株式会社
代表 新居 昭生氏

③ 1月21日(水) 13:00~15:00
「我が社にはこのような人材が必要です！
企業の立場・論理」
講師：雇用能力開発機構
キャリアコンサルタント 金指 明典

独立行政法人 雇用・能力開発機構
沖縄センター那覇事務所
キャリア形成支援コーナー
〒900-0006 那覇市おもろまち1-3-25 4F
TEL:098-864-1588
<http://www.ehdo.go.jp/okinawa/>

学生の皆様へ

企業PRイベントのお知らせ

企業が、学生の皆さんへ向けて、合同企業説明会やホームページでは伝えることのできない会社の魅力をPRします！

日時：1月23日(金)
13:00~16:00

場所：ロワジールホテル那覇(龍宮の間)

定員：100名 ※要予約

対象：大学3・4年生、短大生、専門学校生、第二新卒者等

沖縄キャリアセンター
〒900-0006 那覇市おもろまち1-3-25 3F
TEL:098-866-5465
<http://www.career-ce.jp>

やさしい

上司から一言



沖縄市管工事協同組合
工事部長
知念 勇人さん

金城はいつも明るく朗らか。最初はとまどいもあったようですが、徐々に責任感も出てきて、今では現場も安心して任せられます。特に、断水をせずに水道管に穴を開けて分岐する「不断水穿孔(ふだんすいせんこう)」は私より上手だと思いますね。今後も先輩や同僚から良い点や技術をどんどん吸収して、さらに腕を磨いていって欲しいですね。



組合では上下水道の
給排水設備工事などを行う

かわいい

同僚から一言



沖縄市管工事協同組合
工事部
伊芸 敦さん

金城さんとは入社時期がほぼ同じ。現場での作業も大体一緒で、昼食もみんなで弁当を食べるので家族よりも長い時間一緒にいます。もうツーカーの仲ですかね(笑)。明るくて人あたりが良いので取引先の評判も良く、やりとりもスムーズ。沖縄市は地元だからか、結構顔も広いんですよ。飲み会の席でも場を明るくしてくれる大切な存在ですね。



アスファルトを切るカッターや
ドリルなど使われた道具の数々



技術や知識を学んだことで 人生が大きく拓けました！

教えて！続けている理由！
仕事を続けている人はどんな風に仕事と向き合っているんだろう。辞めなくなったことは？やりがいや楽しみは？
続けられる理由は？このコーナーでは仕事の現場で頑張る人からいろんな本音を聞き出していきます！

職業訓練コース受講が 人生の転機に！

沖縄市管工事協同組合に勤務する金城正樹さんは、一般住宅や企業、公施設などの上下水道給排水、給湯や衛生の設備工事など、「水」にかかわる工事を行う技術者。二、三名のチームで日々、異なる現場へ向かい、公道下



水道管をつなぐため、道路を掘り起こす金城さん

を流れる市上下水道の本管から対象となる住宅や施設に最も近い本管をつなぐのが主な仕事です。エンジンカッターによるアスファルトの切断や、パワーショベルでの掘削、ハンマードリルでの水道管の穴あけ、二本組の特殊なスケールで本管の深さを測るなど、大型機械や重機を扱う専門技術や知識が必要とされます。

「ポリテクセンターとの出会いがなければ今の自分はない」と語る金城さんは、高校卒業後、型枠大工や本土の自動車部品工場で季節労働を経験。帰沖後、中学時代の同級生から「電気や水道工事などの技術が学べる場所がある」と聞き、ポリテクセンター沖縄の職業訓練コースに応募。ハローワークから公共職業訓練受講指示を受けた訓練生として失業等給付を受けな

技術を身につける 強さ、確かさ

工事では無数のゴキブリが潜むマンホールに潜ったり、汚水まみれになるなど、予想外のハードさに転職を考えたことも。しかし、「水道はすべての人に必要で誰かがやらないといけない仕事。ひたむきな先輩達の姿に『自分もしっかりしなければ』と思った」と金城さん。友人らの「こんなに大変な仕事なのに偉い！』という励みや、我が子の誕生で家族を養う責任感が強まったのも仕事を続ける原動力となっています。

「この仕事の魅力は達成感。スムーズに水が流れる配管の勾配が一発でできたときは本当にうれしい！」。

ポリテクセンターで学んだ給排水設備と空調設備の理論や設計、管理施工技术、消防設備の法令・保守管理に加え、ガス・アーク溶接、重機オペレーター、第二種電気工事士の資格取得が仕事に大いに生かされています。今後も二級土木施工管理技術者や給排水にかかわる資格取得、常に新しくなる設備についても日々の勉強は欠かせません。

「仕事は『自分磨き』。技術だけでなく、人間性や責任感も高めて、多くの人に信頼される人間になりたい」と語る金城さんの笑顔は技術と知識に裏打ちされた自信に満ちていました。



金城 正樹 31歳

金城さんのある日のスケジュール

- 6:30 起床
- 7:30 朝食
- 7:50 徒歩で職場へ
- 8:00 清掃
- 8:00 朝礼、安全指針の指差し呼称
- 9:00 現場作業の業務連絡・ミーティング
- 9:00 現場に到着(取引先との作業打ち合わせ、道具の準備など)
- 9:30 午前の作業開始(アスファルトの切断、パワーショベルでの掘削など)
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 午後の作業開始(水道管の穴あけや設置、給排水の確認など)
- 17:00 作業終了後、帰社、道具の片付け、日報記入
- 18:00 帰宅
- 0:00 入浴、夕食、家族との団らん
- 就寝

Profile

1977年豊見城市生まれ。小学生の時、沖縄市へ転居し、高校卒業後、型枠大工や季節労働を経て、(独)雇用・能力開発機構沖縄センター(ポリテクセンター沖縄)のビル管理科を受講。ビル管理に関する技術や知識を半年間学び、沖縄市管工事協同組合へ入社。勤務5年目の現在、給排水設備工事などの現場作業を中心に活躍中。

沖縄県緊急総合経済対策について
皆さんの暮らしの安心確保に向けて



県では、資源食料価格の高騰や世界的な金融危機の広がりが県民の皆さんの生活に深刻な影響を与えている状況を踏まえ、去る十月三十一日に「沖縄県緊急総合経済対策連絡会議」を設置して全庁的な取組みの体制を整えました。
今回は、皆さんに制度を十分に活用して頂けるよう、県の緊急総合経済対策についてお知らせします。
(※緊急総合経済対策については、沖縄県のホームページ等で随時更新していきます。)

国の経済対策の経緯

国は、これまでの原油などの価格高騰対策に加え、八月二十九日に決定された「安心実現のための緊急総合対策」として、生活・雇用支援、農林水産業の強化対策、中小企業者への金融支援などを実施しています。

十月三十日には、追加の対策として「生活対策」が決定されました。今後、補正予算の成立を待って、定額給付金などの家計に対する緊急支援策、金融資本市場の安定対策、雇用セーフティネットの強化策、中小企業への金融支援の拡充等を行うとしています(※)。

沖縄県緊急総合経済対策

県においても、県民の皆さんの暮らしの安心が確保できるよう、中小企業対策や雇用対策など、七つの柱からなる「沖縄県緊急総合経済対策」を推進します。

さらに、十二月十二日には「生活対策」を補強するものとして「生活防衛のための緊急対策」が決定されました。本対策では、雇用問題及び企業の資金繰り確保に重点的に取り組むとしています。

※信用保証制度や各種融資制度など、既に開始されているものもあります。詳細については、次ページの関係機関にお問い合わせ下さい。

沖縄県緊急総合経済対策の主な施策とお問い合わせ先

融資・保証

- | | |
|---|----------------|
| <p>施策等</p> <p>◆中小企業対策</p> <p>①「原油・原材料高騰対策支援資金」の融資枠拡大等 …… 県経営金融課(TEL:098-866-2343)</p> <p>②「セーフティネット貸付」の融資枠、融資対象の拡充、貸付期間の延長等 …… 沖縄振興開発金融公庫(TEL:098-941-1785)</p> <p>③原材料価格高騰対応等緊急保証制度 …… 県信用保証協会(TEL:098-863-5300)</p> <p>◆農林水産・畜産業対策</p> <p>①農林漁業セーフティネット資金 …… 沖縄振興開発金融公庫(TEL:098-941-1840)</p> <p>②農業負債整理資金 …… 県農政経済課(TEL:098-866-2257)</p> <p>③家畜飼料特別支援資金 …… 県畜産課(TEL:098-866-2269)</p> <p>④沿岸漁業改良資金 …… 県水産課(TEL:098-866-2300)</p> <p>⑤農家経営緊急対策資金 …… JAおきなわ農業金融部(TEL:098-831-5156)</p> <p>◆建設業対策</p> <p>①建設業経営強化融資制度 …… 県土木企画課(TEL:098-866-2384)</p> <p>◆生活衛生業対策</p> <p>①生活衛生営業セーフティネット貸付の拡充 …… 沖縄振興開発金融公庫(TEL:098-941-1785)</p> | <p>お問い合わせ先</p> |
|---|----------------|

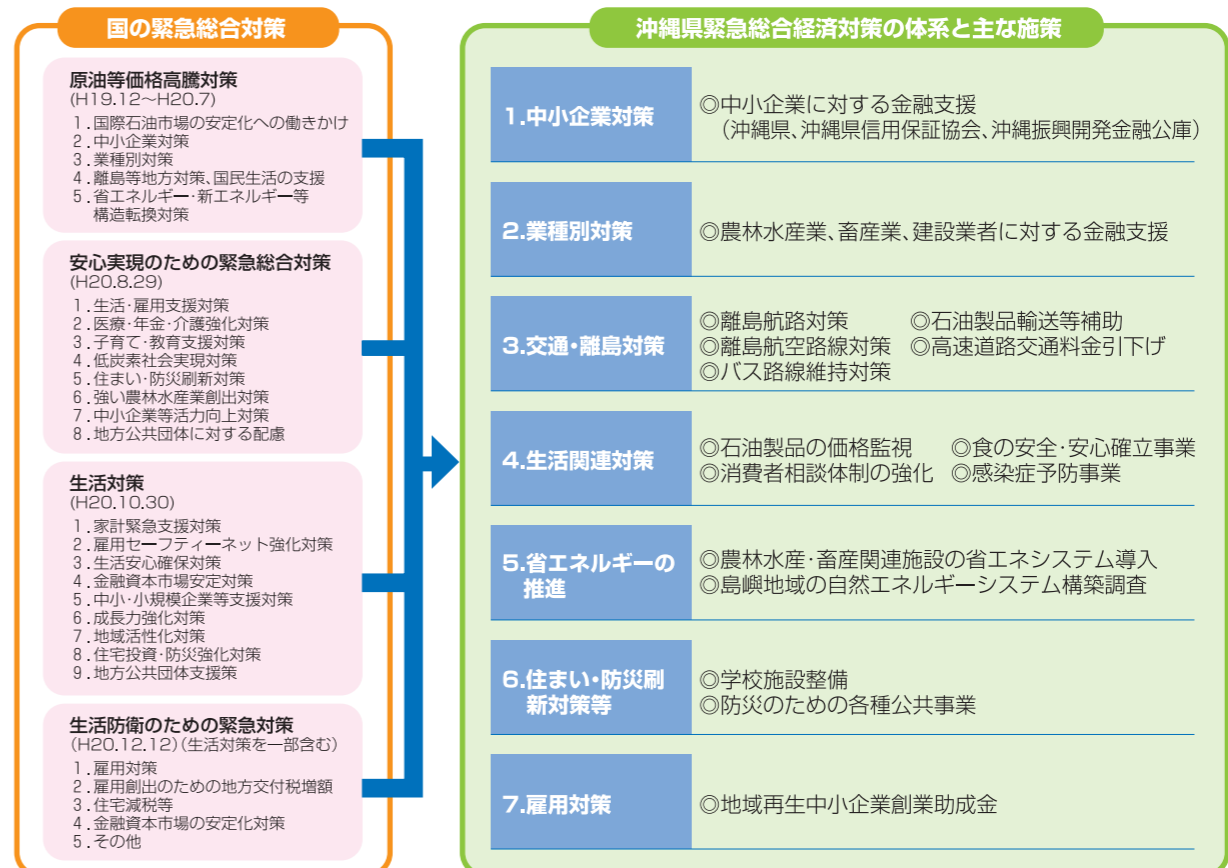
その他

- | | |
|---|----------------|
| <p>施策等</p> <p>◆中小企業対策</p> <p>①沖縄県機械類貸与事業損料等補填補助事業
・省エネ設備導入に係る損料及びリース料の補助 …… 県産業振興公社(TEL:098-859-6236)</p> <p>②省エネルギー診断事業 …… 県経営金融課(TEL:098-866-2343)</p> <p>◆農林水産・畜産業対策</p> <p>①軽油取引税の免除措置(農林水産業者に対する支援) …… 県税務課(TEL:098-866-2101)
※申請窓口は各県税事務所</p> <p>②地力増強対策 …… 県営農支援課(TEL:098-866-2280)</p> <p>③畜産業の支援(飼料価格高騰・価格安定・経営安定対策) …… 県畜産課(TEL:098-866-2269)</p> <p>④漁業共済への支援 …… 県水産課(TEL:098-866-2300)</p> <p>⑤漁船燃料向上対策 …… 県水産課(TEL:098-866-2300)</p> <p>⑥国の実施する水産業者支援
・省エネ機器導入・休漁・減船支援等 …… 県水産課(TEL:098-866-2300)</p> <p>◆建設業対策</p> <p>①単品スライド条項の適用 …… 県技術管理課(TEL:098-866-2374)</p> <p>②改正建築基準法・改正建築士法・住宅瑕疵担保履行法の運用に向けた対応 …… 県建築指導課(TEL:098-866-2413)
県住宅課(TEL:098-866-2418)</p> <p>◆雇用対策</p> <p>①地域再生中小企業創業助成金 …… 沖縄労働局職業対策課(TEL:098-868-1606)</p> | <p>お問い合わせ先</p> |
|---|----------------|

沖縄県緊急総合経済対策の詳細は、以下のURLでご確認ください。
<http://www.pref.okinawa.jp>(注目情報:沖縄県緊急総合経済対策について)

お問い合わせ【県企画調整課】TEL.098-866-2026 FAX.098-866-2351

沖縄県緊急総合経済対策の体系



2009	日	月	火	水	木	金	土
1	4	5	6	7	8	9	10
January	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
2009	日	月	火	水	木	金	土
2	1	2	3	4	5	6	7
February	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28

○イベント○

道州制に関するシンポジウム

日本経済団体連合会産業第一本部長井上洋氏による講演や、道州制と沖縄経済についてのパネルディスカッションを行います。

- 日時 1月9日(金)13時30分～16時
- 会場 パレット市民劇場(那覇市)
- 問合せ 県企画調整課
☎098-866-2026

ワークライフ・バランスセミナー

県では、労働時間の短縮を進め、仕事と生活のバランスのとれた、心豊かでゆとりある生活を実現するための講演会を開催します。

- 日時 1月23日(金)13時30分
- 会場 沖縄都ホテル(那覇市)
- 問合せ 県雇用労政課
☎098-866-2366

○住まいの無料法律相談会

県では、住宅に関する様々な相談に対応するため、沖縄県住宅供給公社内に「住まいの総合相談窓口」を開設しています。その一環として、弁護士の方をお招きして、住まいに関する無料法律相談会を行っています。

- 日時 毎週金曜日(1月2日を除く)9時30分～12時
- 場所 沖縄産業支援センター(那覇市)
- 問合せ 住まいの総合相談窓口
☎098-858-1300

○試験○

自治医科大学(医学部)入学試験

- 第1次試験 1月26日(月)・27日(火)
- 第2次試験 2月5日(木)
- 自治医科大学(栃木県)

沖縄県准看護師試験

- 願書受付 1月5日(月)～20日(火)
- 試験日 2月20日(金)
- 場所 県立看護大学(那覇市)
- 願書受付 1月6日(火)～13日(火)
- 問合せ 県医務・国保課
☎098-866-2169

沖縄職業能力開発大学校入学試験

- 試験日 2月5日(木)
- 試験会場 沖縄職業能力開発大学校(沖縄市)、宮古会場、石垣会場など
- 出願期間 1月14日(水)～28日(水)
- 問合せ 沖縄職業能力開発大学校
☎098-934-6282

○募集○

コールセンターエントリー講座

コールセンターのオペレーターを目指す求職者を対象に、1月13日から約1カ月間、コールセンターエントリー講座を行います。

- 締切 1月7日(水)16時
- 問合せ エンパクト研修センター
☎098-860-7259

農業体験バスツアー

おきなわ花と食のフェスティバル2009の一環として「まちと村の交流体験バスツアー」を開催します。

- 締切 1月9日(金)
- 問合せ 県村づくり計画課
☎098-866-2263

沖縄県工芸公募展作品募集

「第31回沖縄県工芸公募展」への作品を募集しています。対象は、県内で製造された織物、染物、陶器、漆器、ガラス、木工品などの工芸品です。

- 締切 1月15日(木)17時
- 問合せ 県商工振興課
☎098-866-2367

嘱託看護師募集

平成21年度に県立特別支援学校で勤務する嘱託看護師を募集します。

- 応募資格 看護師免許証を有し、病院などでの臨床経験が10年程度ある健康な方
- 面接 1月27日(火)

応募期間 1月6日(火)～16日(金) 問合せ 県教育庁県立学校教育課 ☎098-866-2715

「沖縄21世紀ビジョン(仮称)」の意見募集

県では、将来のあるべき沖縄の姿を描く「沖縄21世紀ビジョン」を策定するため、県民のみならずの意見を広く募集しています。

- 現在配布中のパンフレットに添付されているハガキや、県ホームページなどからご意見をお寄せください。
- 配布場所 県庁、各市町村役場、公立図書館、モノレール各駅等
- 問合せ 県企画調整課
☎098-866-2026

那覇空港に関する意見募集

国と県では、那覇空港の2本目の滑走路のあり方について、皆さんからのご意見を広く募集しています。今回の

○お知らせ○

振り込み詐欺などにご注意を

定額給付金の給付をよそおった「振り込み詐欺」や「個人情報」の詐取にご注意ください。

- 自宅や職場などに市町村の職員などをかたった電話や郵便が届いたら、迷わず、お住まいの市町村や最寄りの警察署にご連絡ください。
- 問合せ 県市町村課
☎098-866-2134

運転免許証のICカード化

1月4日の申請から、運転免許証がICカード化されます。申請には、暗証番号として4桁の数字2組が必要となります。

- 手数料 従来の手数料に四百五十円を加算した額
- 問合せ 県警察本部運転免許課
☎098-866-3401

肥料・燃油高騰対応緊急対策

化学肥料の施用量を2割以上低減する農業者グループに対して、前年度肥料費より増加した分の7割を助成します。

- 対象 平成20年7月～平成21年6月に購入し、その期間中に施肥・作付を開始する作物の肥料
- 締切 1月20日(火)
- 問合せ 最寄りのJA沖縄、各市町村、県営農支援課
☎098-866-2200

各施設行事予定表

県立図書館

- 宮古分館 TEL:0980-72-2317
 - ◆ミニ展示「ダイエット特集」 1月5日(月)～1月31日(土)
 - ◆郷土史研究会(1月定例会) 1月15日(木)
- 八重山分館 TEL:0980-82-2145
 - ◆ミニ展示「戦後八重山の新聞」 1月5日(月)～1月31日(土)
 - ☆休館日:毎週火曜日、祝日、12月28日～1月4日

県立郷土劇場

- ◆沖縄県かりゆし芸能公演 19時～
 - 1月9日(金) 乙女椿
 - 1月16日(金) 玉城流 翔翫会
 - 1月23日(金) 真境名本流
 - 1月30日(金) 真踊流
- 料金 前売2,000円 当日2,500円
- TEL:098-866-2341

県立博物館・美術館

- ◆美術館企画展 「『南』から『南』へ 美術家たちの『南洋群島』」 1月18日(日)まで 入場料 一般800円、高校生・大学生600円、小中学生300円
- ◆博物館企画展 「発掘された日本列島2008」・「沖縄考古学ニュース」 1月9日(金)～3月1日(日) 入場料 一般450円、高校生・大学生200円、小中学生100円
- TEL:098-941-8200

県広報課からのお知らせ

1月 放送予定

- 3日・4日 / 第4回沖縄平和賞
- 10日・11日 / 市町村合併
- 17日・18日 / 沖縄イノベーション創出
- 24日・25日 / 県立職業能力開発校
- 31日・2月1日 / おきなわ花と食のフェスティバル

テレビ放送時間/RBC 6:15 QAB 11:30 OTV 11:30

詳しくはホームページへ <http://www.pref.okinawa.jp/> 沖縄県ホームページ→沖縄県の紹介→広報(テレビ・広報誌等)

県広報課 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

ラジオ 県民室

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。

放送時間/毎週月曜日～金曜日

ラジオ沖縄(864kHz) 11:50～11:55
RBCiラジオ(738kHz) 11:55～12:00
F M 沖縄(87.3MHz) 12:55～13:00

ご意見・ご提言募集中

県政に対するご意見・ご提言をEメール、FAX、手紙などで募集しています。

あて先 県民ご意見箱、知事へのたより

※記入様式等は、ホームページをご覧ください。



わしたしまの情熱キーパーソン



行政の人たちと地域みんなが一緒になって動けば、地域はより快適に、もっとハッピーに。このコーナーでは、そんな地域づくりに取り組む地域住民と行政担当者の「協働」について紹介していきます。

伊是名村

マイバッグを全所帯に配布するなど、環境に優しいエコの島の実現をめざす



毎年4月の「環境の日」前後を「環境美化ウィーク」と定め、ビーチ清掃や講演会などを実施。子どもたちの貴重な環境教育の場となっています

離島村である伊是名村は、平成十七年四月二十五日、来島者から一人当たり百円を徴収する環境協力を税を全国に先駆けて導入しました。村観光振興課の濱里篤さんは「導入に際しては、地域の環境にもっと目を向けてほしい、という気持ちが前提としてありました。その頃から、製糖期を除き、月一回のボランティアによる清掃も実施しています」と振り返ります。

翌十八年には導入を記念し、四月二十五日を「環境の日」に制定し、環境問題にかかわるイベントを開催。さらに一年後の十九年四月には、村の各課をはじめ、漁業組合、商工会、NPOなどの各団体から、それぞれ一人を委員に委嘱し、伊是名村環境プロジェクトを発足させました。「『環境の日』に限定せず、年間を通して何か活動ができないか、ということチームを立ち上げました。私も委員の一人ですが、意識的に若者を登用し、横のつながりを強めることで、柔軟な組織づくりが期待されています」と濱里さん。

「環境の日」に限定せず、年間を通して何か活動ができないか、ということチームを立ち上げました。私も委員の一人ですが、意識的に若者を登用し、横のつながりを強めることで、柔軟な組織づくりが期待されています」と濱里さん。

翌十八年には導入を記念し、四月二十五日を「環境の日」に制定し、環境問題にかかわるイベントを開催。さらに一年後の十九年四月には、村の各課をはじめ、漁業組合、商工会、NPOなどの各団体から、それぞれ一人を委員に委嘱し、伊是名村環境プロジェクトを発足させました。



仲田区の共同売店ではマイバッグを手にした買い物風景がすっかり定着したようす



NPO法人島の風 納戸 義彦さん
伊是名村観光振興課 濱里 篤さん
伊是名村役場 観光振興課
TEL:0980-45-2534

の納戸義彦さんは「平成十七年に、民間力で観光立村をバックアップしようということでもNPOを立ち上げました。美しい島であり続けることが誘客につながると考えています」と島興しの理念を熱く語ります。行政と民間が協働で、環境に優しいエコの島の実現を目指します。

国頭村

ぬちぐすいの森でリフレクシユ。民・官・学が連携し、新規事業を推進

国頭村は、平成十九年三月、森林セラピー推進協議会を立ち上げ、森林セラピー事業を着々と進めています。森林セラピーとは、これまで感覚的に語られてきた森林浴の効果を科学的に解明し、心と身体の健康に活かそうという試みで、県内で初めて国頭村が森林セラピー基地として認定されました。全国で三十五カ所の



モニターツアーを実施し、ガイドの育成やツアー内容の充実を図ります



森林にはフィトンチッド効果、マイナスイオン効果、アロマテラピー効果などがあるとされます

基地・ロードがある中で、亜熱帯林を持つのは国頭村だけです。キャッチコピーを「命薬(ぬちぐすい)の森」とし、国頭村森林公園や与那覇岳登山道など四つの森林セラピーロードが整備されています。

同協議会の一員である、村経済課の宮城哲也さんは「協議会には行政をはじめ、森林組合や福祉・医療関係、商工会やツーリズム協会など多分野の方が参加しています。森の多面的機能を活用し、地域住民の健康づくりや雇用の促進、観光産業の活性化につなげていきたい」と意欲を見せます。現在は、プログラムやガイドラインの作成、モニターツアーの実施や

人材育成の講座開講など、土台・基礎づくりに力を入れているところで、このうちモニターツアーは商工会が中心となって進めている事業で、これまでは日帰りのみでしたが、次の取り組みとして宿泊型のツアーが企画されています。国頭村商工会相談所長の平良勇さんは「せっかく、認定を受けたので、経済効果を出していきたい。宿泊型のツアーは平成二十一年度から開始する予定です」と力強く話します。



国頭村経済課 宮城 哲也さん
国頭村商工会相談所長 平良 勇さん
国頭村役場 経済課 TEL:0980-41-2101

新年あけましておめでとうございます。二〇〇九年も明るく元気に過ごしていかたいと思います。今年の目標は、家族旅行、引越、大会で三勝です！昨年は那覇マラソンを完走し、いつの日か娘と一緒に走りたいと想う私です。今年もどうぞよろしくお願ひします！(ノア)

新年あけましておめでとうございます。いよいよ今年も街中あちこちクリスマスカラーだったのに気が付いたらもう新年ですね(汗)時が経つのは早いものです。昨年は広報誌の編集がソウガメ並みに遅かった私でしたが、それを反省しつつ、今年も五年というところで牛並みのスピードで編集作業を頑張ろうと思えます！(多少はスピードアップ?) (Tak)

沖縄県広報誌 平成21年1月1日発行第33巻1号通巻400号

美ら島沖縄

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2
TEL.098-866-2020

■表紙 写真・文:今泉 真也
新年。忙しい毎日のなかで、昔ながらの季節の節目にひと呼吸おいて海へ。疲れた心も、海と同じようにくると表情を変えて、少し楽になる。

■P12-P13 季節情報提供
(財)沖縄観光コンベンションビューロー